

●理解を深めるために……

Books

※インタビュー

「2040年、地方消滅。「極点社会」が到来する」
増田寛也+人口減少問題研究会、『中央公論』2013年12月号

※地域事例②

「3.11からの挑戦 大好きな小泉を子どもたちへ継ぐために—
集団移転は未来への贈り物」
株式会社小泉地区の明日を考える会

「震災乗り越え地域再生へ」
『北海道建設新聞』(2011年7月27日)

「被災地の選択 防潮堤をどうするか①」
『北海道新聞』(2013年8月7日)

● マルシェノルド バックナンバー

- 第1号 「地域経済の自立に向けて」(99年9月25日発行)
- 第2号 「北海道ツーリズムを考える」(00年1月25日発行)
- 第3号 「都市と商業」(00年6月25日発行)
- 第4号 「循環型社会を目指して」(00年10月25日発行)
- 第5号 「地域とアート」(01年2月25日発行)
- 第6号 「地域とIT」(01年6月25日発行)
- 第7号 「北海道の食産業を考える」(01年10月25日発行)
- 第8号 「NPOのあり方を考える」(02年2月25日発行)
- 第9号 「北のものづくり」(02年8月25日発行)
- 第10号 「地域経済の自立的発展と観光産業」(03年2月25日発行)
- 第11号 「地域景観とまちづくり」(03年8月25日発行)
- 第12号 「地域と大学」(04年2月25日発行)
- 第13号 「北海道らしいエコツーリズムを考える」(04年8月25日発行)
- 第14号 「地域ブランドの時代」(05年2月23日発行)
- 第15号 「地域と医療」(05年8月25日発行)
- 第16号 「北海道発 産消協働」(06年2月24日発行)
- 第17号 「地域とスポーツ」(06年8月25日発行)
- 第18号 「地方都市の再生」(07年2月23日発行)
- 第19号 「地域と農業」(07年8月25日発行)
- 第20号 「地域と図書館」(08年2月25日発行)
- 第21号 「脱温暖化と地域」(08年8月25日発行)
- 第22号 「社会的企業と地域の活性化」(09年3月24日発行)
- 第23号 「食の安全と北海道」(09年8月25日発行)
- 第24号 「森林と地域再生」(10年2月23日発行)
- 第25号 「地域と福祉」(10年8月25日発行)
- 第26号 「企業の力と地域の活性化」(11年2月24日発行)
- 第27号 「地域航空を考える」(11年8月25日発行)
- 第28号 「震災復興と地域」(12年2月24日発行)
- 第29号 「地域と金融」(12年8月27日発行)
- 第30号 「地域と再生可能エネルギー」(13年2月25日発行)
- 第31号 「沖縄と北海道」(13年8月26日発行)

● 「マルシェ: marché」とはフランス語で市場のことで、同音の「マルシェ: marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道(ノルド: nord=北)が、多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて、「開発こうほう」の地域経済レポート特集号として「マルシェノルド」(年2回、9・3月号を予定)をお送りします。地域を考えるきっかけとなるように、毎月、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

March.2014
No.608

編集後記

新幹線が青函トンネルを通ることで、四つの島が強くしなやかに結び付く日本の姿がやっと見えてきたように感じます。1954年の洞爺丸事故から60年、東日本大震災の経験を経て国土強靱化に向けての取り組みが始まっています。自然災害に向き合う健全な国づくりの中で、北海道、東北の役割には大きいものがあります。(S.K)

近いようで遠かった北海道と東北。新幹線が開業すれば、一気にその距離感が縮まります。共通する要素では互いに競争して磨きをかけ、異なる要素は互いに学んで補完し合う。二つの地域が連携して、したたかな地域戦略を描いてみるのが大切です。(M.S)

● 開発こうほう / 地域経済レポート特集号 | KAIHATSUKOHO
Regional Economic Report

マルシェノルド

●ご意見・ご感想をお寄せ下さい。
(一財)北海道開発協会広報研修出版部
〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル
TEL: 011 (709) 5212 E-mail: pr@hkk.or.jp

開発こうほう 第608号 平成26年2月25日
発行 (一財)北海道開発協会
編集協力 小磯修二
印刷所 (株)須田製版 不許複製
<http://www.hkk.or.jp/>